

1. 件 名：訓練のあり方及び規制の関与の検討に係る試行について

2. 日 時：令和5年6月16日 10:00～11:30

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

川崎企画調整官、反町専門職

専門検査部門

岡村検査官

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 防災安全グループ 課長

関西電力株式会社

原子力事業本部 安全・防災グループ マネジャー 他3名

中国電力株式会社

電源事業本部（原子力運営） 副長 他1名

四国電力株式会社

原子力本部 管理グループ グループリーダー 他5名

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長 他3名

5. 要 旨

関西電力から、訓練等のあり方に係る検討課題のうち、中期計画に関する検討状況について、資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、以下をコメントした。

➤ 中期計画の作成プロセスとしては上流の文書から作成することになると思うが、本日晒されたものは下から積み上げていこうとしているように見える。中期計画作成のプロセスの成立性を確認するために、中期計画全体がどのような文書になるか確認が必要である。

➤ 年度評価や評価結果について、事業者間ピアレビューや自己評価においても試行の間は規制庁の立会が必要。

関西電力から、承知した旨の回答があった。また関西電力から、面談の実施時期等、年間の枠組みを検討する旨の発言があった。

6. その他

配布資料：

資料1 中期計画の試行に係る考え方について（関西電力株式会社）